

子どもが見なければならぬ^{れきだいし}歴代誌の王たち



かけい
レムナントは家系を
生かさなければなりません



歴代^{れきだい}1:1 | アダム、セツ、エノシュ、

1. レムナント7人の家系はどうだったのでしょうか

- (1) ヤコブは、息子のヨセフのために祈りました (創37:11)
- (2) ヨケベテは、息子のモーセを王宮に送りました (出2:1~10)
- (3) ハンナとエルカナは、息子のサムエルを幼いときに、神殿に送りました (1サムエル3:1~18)
- (4) エッサイは、息子のダビデを育てました (1サムエル16:1~13)
- (5) エリシャは、レムナント教育に成功しました (列王6:8~23)
- (6) テモテは、立派な信仰の親の下で育てられました (テモテ1:1~5)



2. 聖書で重要に見ている3つのことがあります

- (1) 12部族を重要に見ていました (1歴代1:1~12:22)
- (2) カナンの地を12部族に分け与えることを重要に見ていました (民1:1~36:13)
- (3) イエス・キリストの系図を重要に見ています (マタイ1:1~25)

3. レムナントは家系を生きさなければなりません

- (1) 家系の霊的問題と徹底した戦いをしなければなりません
- (2) 福音の中にある家系を作るために、徹底した準備をしなければなりません
- (3) 世界福音化の情念を徹底した契約で握って、一生、答えを味わわなければなりません



子どもが見なければならぬ^{れきだいし}歴代誌の王たち



(日)

レムナントは

しっぱいしや みち
失敗者の道を知って

したが
従って行ってはなりません

れきだい
| 歴代10:1~14 | このように、サウルは主に^{きか}逆らったみずからの^{ふしん}不信の

罪のために死んだ。主のことばを守らず、そのうえ、^{れいばい}霊媒によって^{うかが}伺いを

立て、主に^{たづ}尋ねなかった。それで、主は^{かれ}彼を^{ころ}殺し、^{おうい}王位をエッサイの子

ダビデに^{まわ}回された。(13~14)





1. サウル王は、大きなうつつではありませんでした

- (1) ねたみ、しつと、欲でいっぱいになった人でした (1サムエル 18:10~20)
- (2) 悪い^{悪い}霊につかれた人でした (1サムエル 16:23)
- (3) ギルボア山で最後^{さいご}を迎え^{むか}えました (1歴代10:1~14)

2. 一生の間、努力^{どりよく}しても、失敗^{しっぱい}ばかりが残^{のこ}りました

- (1) サウル王は、失敗^{しっぱい}の人生^{じんせい}を生きる子孫^{しよん}と人々^{ひとびと}を残^{のこ}しました (1歴代9:35~44)
- (2) 戦場^{せんじやう}でサウル王は死^しんでしまいました (1歴代10:1)
- (3) サウル王の息子^{れすこ}ヨナタンも、やはり、戦場^{せんじやう}で死^しんでしまいました (1歴代10:2~6)

3. レムナントが気^きをつけなければならぬことがあります

- (1) 福音^{えふん}ではない体質^{たいしつ}に根を下ろさないように気^きをつけなければなりません
- (2) ねたみやしつとで人の祝福^{しよく}をのがすことがないように気^きをつけなければなりません
- (3) 悪い習慣^{しやうかん}で、霊的^{れいてき}な祝福^{しよく}をのがすことがないように気^きをつけなければなりません

レムナントはダビデの勝利を 学ぶべきです

I歴代13:1~14 | 私たちの神の箱を私たちのもつに持ち帰ろう。
私たちは、サウルの時代には、これを顧みなかったから。」すると全集団は、
そうしようと言つた。すべての民がそのことを正しいと見たからである。(3~4)

1. レムナントの時期に勝利する体質をそなえましょう

- (1) ダビデは幼い時期に、羊を飼つて、信仰と実力を養いました(詩篇78:70~72)
- (2) 少年の時期には、2つの奥義を持っていました
ビジョンをもつて未来を見ました(Iサムエル16:1~13)
まことの信仰と勇気でゴリヤテに勝ちました(Iサムエル17:1~47)
- (3) 危機にあつた青年の時期には、神様をもつとよりかたく握りました
(詩篇23:1~6)





2. ダビデはまことに勝利しました

- (1) 正しい軍隊が集まりました
一度に 34 人にもなる勇士が集まりました (I 歴代 12:23~37)
彼らは、誠実な心と一つの心になりました (I 歴代 12:38)
イスラエルに喜びがありました (I 歴代 12:40)
- (2) 契約の箱を移す願いを成しとげました
ダビデはすべての長とすべての隊長と合議しました (I 歴代 13:1~12)
ダビデとすべてのイスラエルの民は、神様の前で力のかぎり、喜んで賛美して踊りました (I 歴代 13:8)
神様は、契約の箱がとどまっていたオベデ・エドムの家を祝福されました (I 歴代 13:14)
- (3) ダビデは、感謝の祈りをささげました (I 歴代 17:16~27)
私がいいたい何者であり、私の家が何であるからというので、ここまで祝福されるのですかという感激して言いました (I 歴代 17:16)
主のしもべのために、主のみこころのままに、この大いなることのすべてを行い、知らせてくださったことに感謝をささげました (I 歴代 17:19)
主の他に神様はないと告白しました (I 歴代 17:20)

3. ダビデは最後まで勝利しました

- (1) ダビデは失敗しましたが、自分の過ちを悟って悔い改めた人でした
- (2) 神殿の準備に自分の人生をささげた人でした



レムナントは^{しんでん}神殿の^{じゅんび}準備を どのようにすべきでしょうか

I ^{れきだいいし}歴代29:10~14 | 主よ、^{いだい}偉大さと^{きか}力と^{えいこう}榮えと^{そんげん}榮光と尊嚴とはあなたのものです。
^{てん}天にあるもの^ち地にあるものはみなそうです。主よ、^{おうこく}王国もあなたのものです。
あなたはすべてのものの上に、かしらとしてあがむべき方です。富と^{いさお}譽れは
^{みまへ}御前から出ます。あなたはすべてのものの^{しはいしや}支配者であられ、^{みて}御手には^{いさお}勢いと
力があり、あなたの^{みて}御手によって、すべてが^{いだい}偉大にされ、力づけられるのです。
(11~12)

1. ^{だびだ}ダビデが^{りかい}深く理解したことを、^{れむなんと}レムナントも^{りかい}理解しましょう

- (1) ^{だびだ}ダビデは、^{けいやく}契約と^{ふくふん}福音を理解していました (Iサムエル 16:1~13)
- (2) ^{ふくふん}福音の中で^{いのち}祈りました (詩篇23:1~6)
- (3) 自分と^{げんば}現場を生かす^{でんどう}伝道をしました (詩篇78:70~72)
- (4) 自分と^{みんぞく}民族と^{せかい}世界を生かす^{せんきょう}宣教をしました (Iサムエル 17:1~47)



2. 神殿の準備を正しくしなければなりません

- (1) ダビデは契約どおりに契約の箱から回復しました (I歴代15:25~29)
- (2) 感謝の賛美を回復しました (I歴代16:7~36)
- (3) 礼拝 (全焼のいけにえ) を回復しました (I歴代16:37~43)
- (4) すべての民が参加して正しいイスラエルの民の信仰を回復しました (I歴代29:10~14)

3. レムナントが受けなければならない経済の祝福があります

- (1) 十分の一で教会を生かすほど、経済の祝福を受けるべきです (マラキ 3:1~10)
- (2) 地域、社会、国家を生かす教会堂を建てるほど、経済の祝福を受けるべきです
- (3) 世界宣教の主役になるほど、正しい経済の祝福を受けるべきです
- (4) この世を生かす RUTC を世界のあちこちに立てるほど、正しい経済の祝福を受けるべきです

